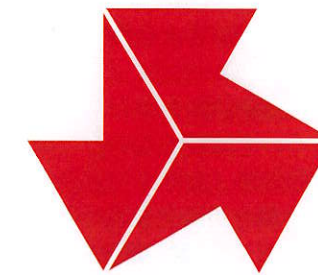


令和7年度

全国高等学校定時制通信制体育大会

第58回卓球大会

開催要項

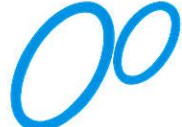


期 日 令和7年8月5日(火)～7日(木)

主 催 (公財)全国高等学校定時制通信制教育振興会
(公財)全国高等学校体育連盟・東京都教育委員会

後 援 文部科学省・スポーツ庁 厚生労働省 (公財)日本スポーツ協会 (公財)日本卓球協会
(公財)東京都体育協会 全国定時制通信制高等学校長会
全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 **NHK** 日刊スポーツ新聞社
(公財)石澤奨学会

主 管 (公財)全国高等学校体育連盟定時制通信制部卓球専門部
東京都高等学校体育連盟

KEIRIN
 **競輪の補助事業**

この全国高等学校定時制通信制体育大会は、
競輪の補助により開催しています。

<https://jka-cycle.jp>

1. 期 日 令和7年8月5日(火)～7日(木)
都道府県責任者会議：8月4日(月)
選手集合：大会Webページ参照
2. 会 場 競技会場：駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館
(東京都世田谷区駒沢公園1-1 TEL 03-3421-6199)
都道府県責任者会議：未定(大会Webページ参照)
(東京都 TEL - -)
3. 競技規定 現行日本卓球ルールによる。
4. 競技内容 (1)団体戦(各都道府県代表校、男女各1校)
(2)個人戦(各都道府県代表選手、男女各4名以内)
東京都は団体戦男女各4校、個人戦男女各8名以内の出場、
北海道は団体戦男女各2校、個人戦男女各8名以内の出場とする。
*前年度団体優勝校、個人戦ベスト8は、推薦枠にて出場することができる。
またその場合、該当都道府県は団体戦の出場校数、個人戦出場選手数を推薦出場分増加
できる。
5. 競技方法 (1)使用球 硬球 ※プラスチックボール(白球で日本卓球協会公認の本大会指定球)
(2)勝 敗 団体戦は4S1D(SSDSS)で行い、3点先取法。詳細は細則による。
団体戦、個人戦ともにトーナメント法で行う。
団体戦、個人戦ともに11ポイント3ゲーム先取法とする。
6. 参加資格 (1)全国高等学校定時制通信制体育大会開催基準要項 13の(1)から(11)の規定を
満たしていること。
(2)参加選手はあらかじめ健康診断を受け、学校長の承認を必要とする。
(3)以下の生徒の参加については認めない。
①聴講生
②当該校において、卒業を目的としない生徒
③意図的な留年を繰り返し、競技種目を越えて連続で出場する生徒
④通信制課程に所属し、高校生としての教育活動が著しく損なわれている生徒
⑤別途定める「全国高等学校定時制通信制体育大会における個人情報及び肖像権に
関する取扱い」の承諾を得られない生徒
⑥参加費の未払いな生徒
⑦いわゆる1条校の定める各学校種別における全国大会規模の大会(各地区予選含む)
に出場した生徒
(例)全国専門学校総合体育大会、全国高等専修学校体育大会、全国聾学校体育大会等
⑧その他、各競技専門部会が定める「定通大会」参加資格及び規定に反する者、及び
不良性行や大会運営上支障があると判断され、参加が不適切であると認められた生徒
(4)当該年度日本卓球リーグ、日本リーグビッグトーナメント、全日本選手権団体の部の
大会(各地区大会を含む)等の出場者は除く。
(5)団体戦のチーム編成は、人数は7名以内で編成したものに限る。
なお、合同チームの編成は、合同チーム参加資格の特例及び規約を満たしていること。
7. 参加申込 (1)参加校の責任者は、所定の用紙(団体戦参加登録書・個人戦参加登録書)により
各3部作成し、参加料を添えて各都道府県責任者あて送付すること。
(2)各都道府県責任者は、参加申込書(兼報告書)の書類(2部)を作成し、各校より
送付を受けた参加登録書(各2部)とともに一括して、大会事務局に「書留速達」で
送付すること。また、参加申込書(兼報告書)のデータを作成し、大会事務局のメール
アドレスに送信するか、事務局指定の記録媒体に保存し、同封して送付すること。
(3)申込期日 **令和7年6月25日(水) 必着**
(4)申 込 先 大会事務局
(5)参加料は、次の郵便振替の口座に納入すること
口座番号 **00120-3-623274**
口 座 名 **全国高等学校定時制通信制部会卓球専門部**
(6)申込期日以降は、参加料の返金は行わない。
8. 参加料 (1)団体戦 1チーム・45,000円 (2)個人戦 1名・4,500円

9. 表 彰 (1)団体戦 男女とも第一位から第三位まで表彰し、優勝旗・優勝杯・表彰状及びメダルを
授与する。男女優勝杯として、文部科学大臣杯・厚生労働大臣杯を授与する。
(2)個人戦 男女とも第一位から第三位まで表彰し、優勝杯・表彰状及びメダルを授与する。
優勝者には、日本卓球協会より表彰状を授与する。三位決定戦は行わない。
10. 抽 選 会 (1)個人戦は大会準備委員会において、7月2日(水)に行う。
(2)団体戦は都道府県責任者会議において行う。
(3)シード 前年度団体戦ベスト4、個人戦ベスト8までをシードとする。
11. 宿 泊 (1)東京都区内および神奈川県川崎市内のホテル
1泊2食 15,400円 1泊夕食 13,750円 1泊朝食 12,100円(すべて税込)
※基本はシングルだが、ツイン・トリプルの場合は上記額から2,200円引きとする。
(2)申込方法 宿泊要項を参照の上、所定の用紙に記入し、申し込むこと。
(3)注意事項 宿泊当日のキャンセルはできません。(キャンセル料が発生します。)
(4)申込期日・申込先 上記参加申込みに同じ。
12. 会 議 都道府県責任者会議(団体戦の抽選を行いますので時間厳守をお願いします)
*令和7年8月4日(月) **15:00～17:00**
会場 未定(大会Webページ参照)
(東京都 TEL - -)
13. そ の 他 (1)競技規定の補足説明
・ラバーの接着行為においては、JTTAが公認した感圧接着シート、水溶性接着剤または
固形接着剤のみを用いて行うものとする。
・サービスについてはH17.9.1改正の内容を、ラケットについてはH14.4.1改正の内容を
適用する。
・タイムアウトは採用しない。
・ボールの選択は、大会進行を考慮し競技領域でトスにより行う。
(2)競技中の疾病、傷害などの応急処置については、できる範囲で主催者側が行うが、
その後の責任は主催者では負わない。
(3)参加者は健康保険証を持参すること。
(4)出場選手は、必ず引率責任者によって引率され、引率責任者は選手の行動に対して全て
責任を負わなければならない。
(5)連絡先 大会事務局
(6)本大会(除予選)において使用するゼッケンは、事務局の設定した書式に基づき
各都道府県で作成する(下図参照)。
なお、日本卓球協会のゼッケンの使用は認めております。
(7)大会経過及び結果は、大会Webページに掲載します。
- <https://t2-tabletennis.com/>
- (8)ゼッケンのサイズはB5判を基準とし、白地の布に文字は黒を使用すること。

東 京
紫 田
第 一 商 業



14. 大会事務局

125-0051 東京都葛飾区新宿3-14-1
東京都立葛飾商業高等学校全日制内
全国高等学校定時制通信制卓球大会事務局
事務局長 工藤大観 宛
TEL 03-3607-5178 FAX 03-3826-1921
E-mail t2-tabletennis@live.jp

全国高等学校定時制通信制卓球大会 細則

本大会は、大会運営のために細則を設ける。各都道府県に於いても状況に応じて本細則を準用すること。

1. 服装

- (1) 選手は、日本卓球協会公認のユニフォームであることが望ましい。
- (2) ユニフォーム（袖・襟を除く）の主たる色は、使用するボールの色（本大会では白色）と明らかに違う色でなければならない。
- (3) ゼッケンは、本大会用の書式に基づき、各都道府県で作成されたものを使用して、背面に固定する。なお、公益財団法人日本卓球協会のゼッケンも使用することができる。

2. 団体戦

- (1) 競技は3～6名で行い、ダブルスを中央におく、4シングルス、1ダブルスの5試合とし、3点先取法で勝敗を決定する。
ただし、敗戦チームがトーナメントにおいて初めての試合の場合、希望すれば2ゲームまでの親善試合を5番まで実施できる。
- (2) オーダーの組み方は、AB・PQ方式とし、トスによりそのいずれかを選択する。この場合両チームはお互いに違う方式をとる。

オーダーの組み方

3名の場合：シングルスに2度出場できる者1名（AB側ではB、PQ側ではP）とシングルス1度とダブルスとに出場できる者2名（AB側ではA・C、PQ側ではQ・R）となります。

		AB側	PQ側
1	単	A	P
2	単	B	Q
3	複	A	Q
		C	R
4	単	BorC	PorR
5	単	BorC	PorR

オーダー用紙記入見本

試合番号		215
パターン番号		2
記号		AB(PQ)
県名	佐 賀	
校名	佐賀工	
1	P	木 村
2	Q	田 中
3	Q	田 中
	R	伊 藤
4	R	伊 藤
5	P	木 村

パターン番号の欄に パターン番号を必ず ご記入下さい。

選手名の前の欄に、 A～FまたはP～U の記号を必ずご記入 ください。
--

パターン一覧表

人 数			3 名		4 名				5 名						6 名
パターン番号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
A B 側	1	単	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	2	単	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	3	複	A	A	A	A	A	A	A	A	C	C	C	C	C
	4	単	B	C	B	D	C	D	D	E	B	D	C	D	D
	5	単	C	B	D	B	D	C	E	D	D	B	D	C	D
P Q 側	1	単	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
	2	単	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q
	3	複	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	Q	R	R	R	R	R
	4	単	P	R	P	S	R	S	R	R	T	T	T	T	T
	5	単	R	P	S	P	S	R	S	T	P	S	R	S	S

団体戦における進行上の要領は下記の通りとする。

- (1) オーダー表受領：試合開始40分前に対戦相手とのトスによってABまたはPQを決める。
尚、指定された時刻に遅れた場合には、相手チームに選択権を与える。
- (2) オーダー表提出：試合開始30分前に、本部席オーダー係に提出する。
オーダー表には、パターン番号と選手名およびその記号（AB・PQ等）を記入する。
- (3) 選手集合：試合通告の放送があり次第、指定のコートに直接集合する。その際、若い番号のチームが本部側のベンチに入ること。
- (4) 競技：両チーム挨拶、対戦者の確認後、試合を行う。対戦者の確認までにオーダーのメンバー全員が揃っていない場合は、いかなる理由があっても相手チームの勝ちとする。
- (5) 試合結果の確認を行い、両校の監督がスコアカードに署名して、挨拶の後、主将先導で退場する。
- (6) ベンチ：監督章をつけた者1名（監督、顧問教師、コーチ又はこれに代わる者）と登録選手以外入ってはならない。

3. 個人戦

- (1) 試合通告の放送があり次第、指定のコートに入り、審判員に届け出る。その際、若い番号の選手が本部側のベンチに入ること。もし、団体戦に出場中の場合には、代理者が進行係に申し出る。
- (2) トスでボールを決め、対戦者との練習の後、試合に入る。
- (3) ベンチには、アドバイザー1名以外入ってはならない。
- (4) 試合が終了したら、敗者がスコアカードに署名して、挨拶後退場する。

4. ボール

- (1) ボールの選択は、すべて対戦者間のトスの勝者に決定権を与える。

5. 棄権

- (1) 事情により棄権する場合には、必ず本部に本人または代理人、チーム代表責任者（監督、顧問教師）が届け出て、確認を受けた後、試合を放棄する。
- (2) 本部より試合通告のアナウンス3回後、3分経過しても指定の場所またはコートに出場しない場合、または別の試合に出場中である旨の連絡がない場合は、棄権とみなす。

6. 選手変更

都道府県責任者会議30分前までに、責任者によって文書で提出された場合に限り、次の選手変更を認める。

- (1) 団体登録メンバーの変更
- (2) 個人戦出場選手の変更

※選手変更については、変更が決まり次第速やかに大会事務局までご連絡ください。また、急な事情により選手変更が生じた場合は、都道府県責任者会議での各県責任者会議出席者の変更報告を最終として受け付けます。大会運営のためにどうぞご協力ください。